

自分の思いや考えをもち表現することができる児童の育成 ～対話的に学ぶことを通して～

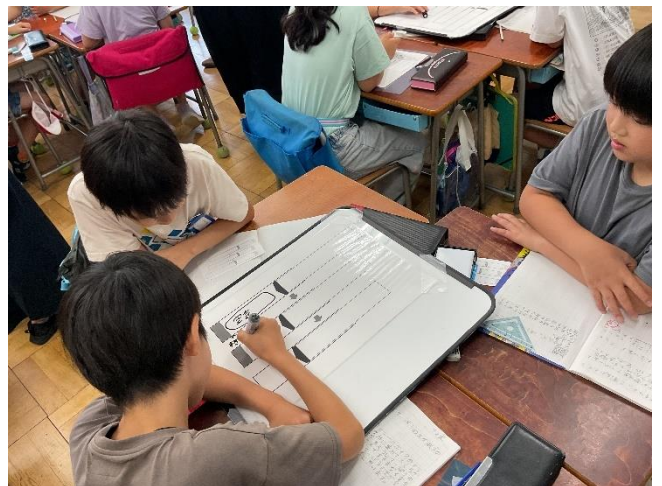
本校では、児童の学力向上とともに、教師の指導力向上を目指し、授業研究に取り組んでいます。具体的には対話的に学ぶことを通して、自分の思いや考えをもち表現することができる児童の育成に向けて、研究を重ねています。

7月2日水曜日、4年2組の研究授業がありました。1時間（45分間）の授業のために、何度も検討を重ねてきました。授業の様子をお伝えします。

第4学年 理科 「空気」鉄砲と「水」鉄砲のしくみをさぐろう

「空気鉄砲の玉は、なぜ飛ぶのだろうか」という問いをもとに、子どもたちは自分の考えを予想し、グループや全体で話し合いを行いました。

子どもたちの予想からは「空気が圧縮されたから玉が飛んだと思う」「空気の部屋がどんどん小さくなって、限界をむかえたから玉が飛んだ」など、さまざまな考えが出ました。そしてホワイトボードを活用しながらグループで考えをまとめました。その過程で話し合いが活発に行われる姿がたくさん見られました。



最後は各グループで出た意見を発表し、考えを共有しました。次回は本日の予想をもとに実験をします。どのような結果が出るのかが楽しみです。

授業後は、教員同士で話し合いを行い、授業の成果や改善点を共有しました。また講師の先生をお招きして、授業について講評をいただきました。

この日学んだことを教員一同、明日からの授業に生かしていきたいと思います。